

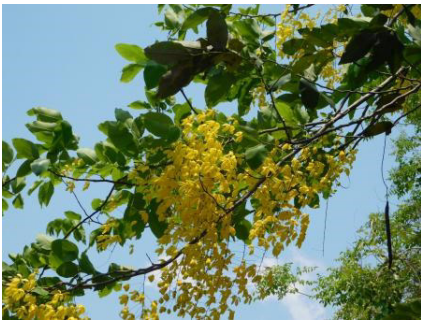
# シラチャ校だより

泰日協会学校  
シラチャ校  
2018. 6. 6



## タイと沖縄

泰日協会学校シラチャ校 教頭 山田義一



ゴールデンシャワー、サンダンカ、ブーゲンビリア・・・  
4月6日、私が赴任のために来泰した時に、スワナプーム空港やバスの車窓から見かけた花々です。これらの花々を見かけての第一印象は、私の出身地の「沖縄と一緒に！」でした。タイの生活にも徐々に慣れ、周囲を見渡す心の余裕ができて、タイと沖縄の類似点にいろいろな面で気づかされる毎日です。

かつて、沖縄が「琉球」と呼ばれていた時代に、琉球は、中国、東南アジア諸国との交易を行い栄えていました。琉球から東南アジアへは、中国産の陶磁器や絹織物、琉球産の硫黄、日本産の工芸品などが輸出され、東南アジアからは、高級な染料としての蘇木（そぼく）、胡椒、南蛮酒、象牙などめずらしい品々を買いました。交易を通して、諸外国から食、文化など様々な影響を受け、それらを取り入れながら、琉球独自の文化を築き上げてきた歴史があります。そのような中、琉球は、ここタイ（当時はシャムと呼ばれていた）とも交易を行っています。1419年～1570年の期間に62隻の交易船がタイへ派遣されました。これは、東南アジア諸国で最多の派遣数です。ところで、保護者の皆様は沖縄の「泡盛」というお酒をご存知でしょうか。この泡盛も実は、タイの「ラオカーオ」という酒が起源となっているようです。先日、私も「ラオカーオ」を飲んでみました。正直、泡盛とは違う味ではありませんが、タイと沖縄の繋がりを感じつつ味わうことができました。



タイでよく使われる言葉に「マイ ペンライ」という言葉があります。「問題ない。大丈夫」「どうにかなるさ」というような意味で使われるようです。実は、沖縄にも同じ意味の言葉があります。「なんくるないさ」です。一度は耳にしたことがある方もいらっしゃるかもしれません。タイと沖縄。そこに暮らす人達の気質においても共通の部分があるのかもしれない。

タイに赴任して2か月が経過しようとしています。異国に来たというよりも、どこか親近感の方が勝るこの2か月間でした。今後、タイの文化、歴史、自然に触れ、そして、タイの方々との関りを通して、より一層、タイの奥深さを探求していきたいと思えます。

最後に、シラチャ日本人学校で学ぶ子ども達も、ここタイでの生活を通して、多くの事を学び、体験し、貴重な時間として過ごしていくことを願っています。

# 平成30年度 泰日協会学校シラチャ校 小学部 経営方針

## 学校教育目標

- 1 創意工夫し、進んで学ぶ児童生徒 (知育)
- 2 自分と友達の良さに気づく思いやりのある児童生徒 (徳育)
- 3 心と体を鍛え、命を大切に作る児童生徒 (体育)
- 4 広い心で考える国際性豊かな児童生徒 (国際理解)

## 校訓

あ・・・明るく な・・・仲良く た・・・たくましく

## 小学部テーマ

レッツ トライ イッツ！ 自主性を育み、壁（課題）を乗り越え、自ら意欲的に取り組む子の育成！

子どもが問いをもち、学ぶ喜びのある授業づくり

一人ひとりのよさが生かされ、お互いを認めあえる集団づくり

将来を見据え、「育ち」のある人間づくり

## 具体的な教育活動

### 学力の向上

- ◎基礎・基本の徹底
  - ・「つきたい力」を明確にした授業づくり
  - ・言語活動の充実
  - ・「読む」「書く」「計算」など、基本的事項の確実な定着
- ◎「学び方」を身につけさせる
  - ・シラチャスタンダードの共通実践（学習規律）
  - ・家庭学習の習慣の定着と内容の充実
- ◎学ぶ喜びを高める授業
  - ・課題に対して、目的や必要性をもち、主体的に学ぶ児童の育成
  - ・「しりたい」「わかった」「できた」「もっとやりたい」のある授業
  - ・自らの成長を感じる工夫
- ◎日々の授業改善を
  - ・校内での授業交流
  - ・学びの連続性を意識した学習計画
  - ・経験の蓄積と計画的実践

### 豊かな心の育成

- ◎人とかかわりの中で、社会性を高める
  - ・「あいさつ」「返事」「思いやり」「感謝」など当たり前のことを大切に
  - ・学級、学年、異年齢、タイ人スタッフなど、さまざまなかわりを意図的に生む。
- ◎望ましい人間関係づくり
  - ・自己肯定感を育む
  - ・仲間づくりを広げる取り組み
  - ・気になる様子への細やかな対応
- ◎すべての子に数多くの活躍の場をつくる
  - ・班、日直、係、学級イベント、学年集会、縦割り班、
  - ・委員会活動、クラブ活動、学校行事などで高学年に活躍の場を
  - ・子ども主体の活動を
- ◎「道徳」や話し合い活動を通して、考えや思いを交流する
  - ・心の葛藤、揺れを引き出す
  - ・自分を見つめる時間に
  - ・道徳的実践力を育む工夫

### 自立への支援

- ◎基本的な生活習慣の確立
  - ・具体的に自分の姿を振り返らせ、考えさせながら身につけていくようにする
  - ・家庭との連携を密にし、啓発する
- ◎健康的な生活習慣の確立
  - ・健康に関する指導の充実
  - ・保護者への啓発と家庭との連携
- ◎進んで体を鍛え、自らの健康を考える子を育てる
  - ・元気アップボード
  - ・シラチャグランプリ
  - ・体力測定の結果の活用
  - ・体育倉庫や遊具の活用
  - ・シラチャタイムの活用
  - ・学習カードの活用
- ◎安全に対する意識と態度を育てる
  - ・廊下の歩行の仕方
  - ・休み時間の過ごし方
  - ・避難訓練の反省

# 平成30年度 泰日協会学校シラチャ校 中学部 経営方針

## 1. シラチャ日本人学校教育目標

- |                           |
|---------------------------|
| ① 創意工夫し、進んで学ぶ児童生徒         |
| ② 自分と友達の良さに気づく思いやりのある児童生徒 |
| ③ 心と体を鍛え、命を大切にする児童生徒      |
| ④ 広い心で考える国際性豊かな児童生徒       |

## 2. 中学部経営の基本的な考え

シラチャ日本人学校中学部では、学校経営案に示されている、日本の学校教育法をはじめとする法令や学習指導要領に則り、日本国内と同様に「知・徳・体」の調和のとれた教育を推進し、「生きる力」の育成に努めていきたいと考えています。また、タイの特色を活かした活動を展開し、個性の伸長を図り、帰国する子どもたちが本校中学部にいたことに誇りをもち、自信をもって日本に帰国できるようにしていきたいと考えています。

また、中学部の活動を円滑に進め、子どもたちの「生きる力」を育むため、保護者の方や日本人会等のご理解・ご協力がなければなりません。今まで以上の連携・信頼関係を築いていけるように中学部の運営にあたっていきたいと思ひます。

## 3. 中学部運営テーマ

百花斉放（ひゃっかせいほう）
----------------

## 4. 中学部の重点目標と具体的な取り組み

中学部では、生徒の課題を解決するとともに、教育目標を具現化するために、以下の1～5を重点目標とし、皆様の協力を得て、その達成のために取り組んでいきたいと思ひます。

<b>重点目標 1</b>	<b>学習意欲の向上と確かな学力の定着</b>
○学習規律の確立 ○授業の充実 ○テスト前の質問教室の実施 ○家庭学習強調週間（テスト期間）○少人数制授業の実施（数・英）	
<b>重点目標 2</b>	<b>豊かな人間性とたくましい体の育成</b>
○基本的生活習慣の確立 ○道徳の時間の工夫 ○アクティブタイムの実施	
<b>重点目標 3</b>	<b>国際社会で生きる力の育成</b>
○SGE・SSTを取り入れた授業の実施 ○系統的・計画的な総合的な学習の時間の確立 ○生徒会による自治活動 ○キャリア教育の計画的な推進 ○海外での体験活動の充実	
<b>重点目標 4</b>	<b>開かれた中学部作り</b>
○各種たよりの積極的な発行 ○校内掲示板の充実 ○進学ガイダンスの計画的実施 ○学級懇談・個別面談の充実 ○保護者アンケートの実施	